

ひかりのこ

年度末園便り

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2023年3月10日

「いつでも帰っておいで」

年長のすずらんさん、ご卒園おめでとうございます。
年中少のこすもすさん、ひまわりさん、ご進級おめでとうございます。

私は園長になって、この3月で11年目が終わります。いままでたくさんのお子さんの卒園を見送ってきました。最初の頃は、もう2度と会えないような気がして、とっても寂しく思っていました。

ところが最近はこのミカエル幼稚園は、卒園生が、すぐに、または、一年に何度か、またはある時ひょっこり帰ってきてくれる幼稚園なのだ、とわかるようになりました。「日曜学校」や、「教会バザー」や、特に特別な行事がなくても、子どもたちや保護者の皆さんが帰ってきてくれるのです。

子どもたちに久しぶりに会うと、「え、あんなに怒ってばかりいたあの子が、こんなにしっとり落ち着いて!」とか、「いつつも泣いてばかりいたのに、すごいお姉さんになっている!」とか、「いつの間にか私の背を追い越してしまった!」と驚きと喜びでいっぱいになります。

卒園生だけでなく、この幼稚園を退職された先生も、よく遊びに来てくださいます。つくづくミカエルで働くことは幸せなことだなあ、と感じます。

すずらんさん、どうぞミカエルで身につけた「お友達に優しくする」気持ちを忘れないでください。「声大きい」「スポーツができる」「頭がいい」よりも「優しい」は実は人と付き合うときに一番「強い」人なのだと思います。それは、今まで幼児から大人までたくさんの人を見てきた園長先生が保証します。何よりも神様がそれを保証してくださいます。

卒園生の保護者の皆様。まだまだこれから皆様の子育ては続きます。楽しいことも、悲しいことも、腹が立つことも、自分の思い通りにいかないことも、お金がかかって慌てることも、これからたくさん経験されることでしょう。でも、やっぱり子育ては楽しいものです。そして何とかなるものです。神様が見守ってください。

でも何とかならないと感じた時には、周りの人に「助けて!」と頼ってください。もちろん、いつでも幼稚園の先生たちに相談に来てください。

これからずっと聖ミカエル幼稚園が、聖ミカエル教会が、皆様の帰る場所でありますように。どうぞお元気で。

園長 渡部良子

キリスト教保育

「復活の力に包まれて」

～卒園によせて～

今年の復活祭（イースター）は、4月9日です。その3日前の金曜日に十字架につけられたイエス様が甦ったことを世界中で記念する教会の祝日です。イースターにはよくイースター・エッグを用意します。卵の殻はイエス様が葬られた石の墓であり、その中から、固い殻を破ってイエス様が復活されたことを表しています。人間にとって最大の恐怖であり、諦めの象徴でもある死は、実は終わりではないこと、死を超えて大きな喜びがあるとの神様の約束を胸に刻みます。弱くはかない人間に対して、本当の希望はそこから始まるのだとのメッセージが込められています。

聖ミカエル幼稚園で大事な幼少期を過ごしたお友だちは、神様の恵みの中で過ごしてきました。大人になる成長の過程でいろいろな雑念が入ってくる前に、本当に純粋な心で神様に祈りを捧げた時間は、人生の中でかけがえのない経験になったはずです。子どもたちは、神様を信じること、人を信じることの大切さをすでに学んだのです。幼稚園という殻に守られて育った小さいのちが、輝かしい姿になって、新しい世界に旅立とうとしています。それもまた、ひとつの復活の経験です。卒園する子どもたちが、イエス様の復活の力に包まれて、飛び立ちます。もう大丈夫、未知の場所でも、この子たちは安心して自分らしさを発揮できると、私は信じています。

さて、9年間この幼稚園でご奉仕した私も、この4月で幼稚園を去り、旭川に異動します。これまでお交わりをいただき、私を成長させてくださった保護者の皆さま、先生たちに心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

チャプレン 下澤 昌